

第2期高知県スポーツ推進計画Ver.1について

策定の趣旨

平成29年度が「高知県スポーツ推進計画(平成25年11月策定)」及び「スポーツ推進プロジェクト実施計画(平成27年3月策定)」の見直しの時期であることに加え、これまで教育委員会が所管していたスポーツ行政(学校体育関係を除く)のほか、スポーツツーリズムや障害者スポーツなどの関連施策を知事部局に一元化したことにより、本県スポーツ施策の総合的な計画として策定するもの

計画の位置づけ

スポーツ基本法第10条第1項に定める国のスポーツ基本計画に基づく計画

計画期間 平成30年度から平成34年度(5年間)

目指す姿

従来計画の目指す姿を踏襲し、スポーツを県民の生活に浸透させることで、心身ともに健康な暮らしの実現を目指す

スポーツを通じて健やかで心豊かに、支え合いながら生き生きと暮らすことのできる社会

基本理念

従来の計画で取り組んできたスポーツの振興に加え、スポーツを通じて経済や地域の活性化につなげる考え方を理念に追加

- ① 将来にわたって誰もがスポーツに親しみ夢や志を育むことができる環境をつくる
- ② スポーツの価値や魅力を通じて活力ある地域づくりにつなげる

施策の柱

本県のスポーツを抜本的に強化し、誰もがスポーツに親むことができる環境づくりや、スポーツの価値や魅力を通じて地域の一体感や活力の醸成につなげることを目指して、**3つの柱**とこれらに**横断的に関わる施策の方向性**を進める

1 スポーツ参加の拡大

「する」「みる」「ささえる」といった多様なスタイルでスポーツに参加する人口の拡大

■ 主要な取り組み

「地域スポーツハブ」

持続可能な地域スポーツ活動を推進するため、総合型地域スポーツクラブなどが核となって地域のスポーツ活動の拠点を担い、地域住民の多様なニーズに応じたスポーツサービスを提供

2 競技力の向上

世界のトップレベルの大会に出場するなど、日本を代表する選手や指導者等を多数輩出

■ 主要な取り組み

「高知県パスウェイシステム」

「全高知チーム」

子どもたちが自分の適性に応じたスポーツと出会い、可能性をつなぐ取り組みを行うとともに、選抜された有望な選手に対して年間を通して質の高い強化を展開

3 スポーツを通じた活力ある県づくり

スポーツツーリズムの推進や地域におけるスポーツサービスの提供による経済や地域の活性化

■ 主要な取り組み

「スポーツツーリズムの推進」

プロやアマチュアスポーツのキャンプや大会・合宿の誘致及び自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進等

「地域スポーツサービスの提供」

地域スポーツハブや総合型地域スポーツクラブ等における地域のスポーツ機会の拡充によるビジネス化の促進

横断的に関わる施策の方向性

オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を好機と捉え、大会の機運の醸成を図るとともに、スポーツ参加の拡大や競技力の向上、スポーツを通じた活力ある県づくりにつなげるスポーツの振興

■ 主要な取り組み

「オリンピック・パラリンピック等の事前合宿誘致」

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会や2019ラグビーWCの事前合宿の受け入れを行うとともに、大会後のレガシーとして多様な交流等が継続するよう関連事業を実施

「スポーツ医学拠点」

県中央部にスポーツ医学拠点を整備するとともに、東部と西部のスポーツ医学サテライト機能を充実を図り、県下全域において質の高いスポーツ医学サポートを展開